時限動作機能付き警報設定器
MS3505DT
取扱説明書

文書番号：MJ-A1302

Rev. 1.0　2002 年 3 月 27 日

1. はじめに

この度は、MTT 製品をお買い上げいただき、誠に有難うございます。

本器を正しくお使いいただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。またご使用後は本書を必ず保管し、必要に応じて参照してください。

本器は十分検査をして出荷しています。本機がお手許に届きましたら外観チェックを行い、損傷のないことを確認してください。また、付属品も同様に確認してください。

2. 安全にご使用いただくために

本器のご使用にあたっては下記の安全注意事項を必ずお守りください。以下の注意に反した使用により生じた障害については、当社は責任と保証を負いかねます。

⚠ 警告	この表示の記載内容を守らないと、火災・感電などにより人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠ 注意	この表示の記載内容を守らないと、感電・その他の事故により人が障害を負ったり、物的損害を招く可能性があります。
⚠ 留意	この表示の記載内容を守らないと、当面は問題ないが、いずれ故障に至る可能性があります。

⚠ 警告　安全に関する使用上の注意

- ■ 端子台への配線・離線は必ず電源が供給されていないことを確認して、行ってください。
- ■ 通電状態で MS3500 モジュールを外したままの状態にしないでください。
- ■ 本器を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- ■ 万一、異物（金属片、水、液体）が本器の内部に入った場合は、すぐに電源配線をはずして、販売店または当社までご連絡ください。
- ■ 可燃性ガスのあるところでは使用しないでください。爆発のおそれがあります。
- ■ 運送機器、通信機器、発電制御機器、医療機器など高度の信頼性・安全性が求められる用途で使用する場合は、組込まれるシステム機器全般として、誤動作防止設計などの安全設計を施す必要があります。

エムティティ株式会社
東京営業所：〒160-0008　東京都新宿区三栄町11-4　☎03(5379)8641(代)　FAX.03(5379)8648
筑波営業所：〒305-0005　茨城県つくば市天久保1-16-10（三井生命筑波学園ビル）　☎0298(52)8521(代)　FAX.0298(52)8523
関西営業所：〒651-2241　神戸市西区室谷2-7-12（神戸ハイテクパーク内）　☎078(997)9351(代)　FAX.078(997)9359
名古屋営業所：〒450-0002　名古屋市中村区名駅4-23-13（大同生命ビル）　☎052(561)1595(代)　FAX.052(561)3375

⚠注意 安全に関する使用上の注意

- 本器への配線は各線が遮断された状態を確認してから行ってください。
- 本器に加える供給電源電圧、入力信号の値および端子位置が、本器の仕様に合っていることを確認してください。仕様外で本器を動作させた場合、発熱、焼損するおそれがあります。
- 温度変化が急激で結露するような場所での使用はお避けください。故障のおそれがあります。
- 腐食性ガスのある場所や薬品が付着する場所での使用および保管は避けてください。
- MS3500 モジュールの挿入および抜取りは、通電状態でも行なえますが頻繁に行わないでください。

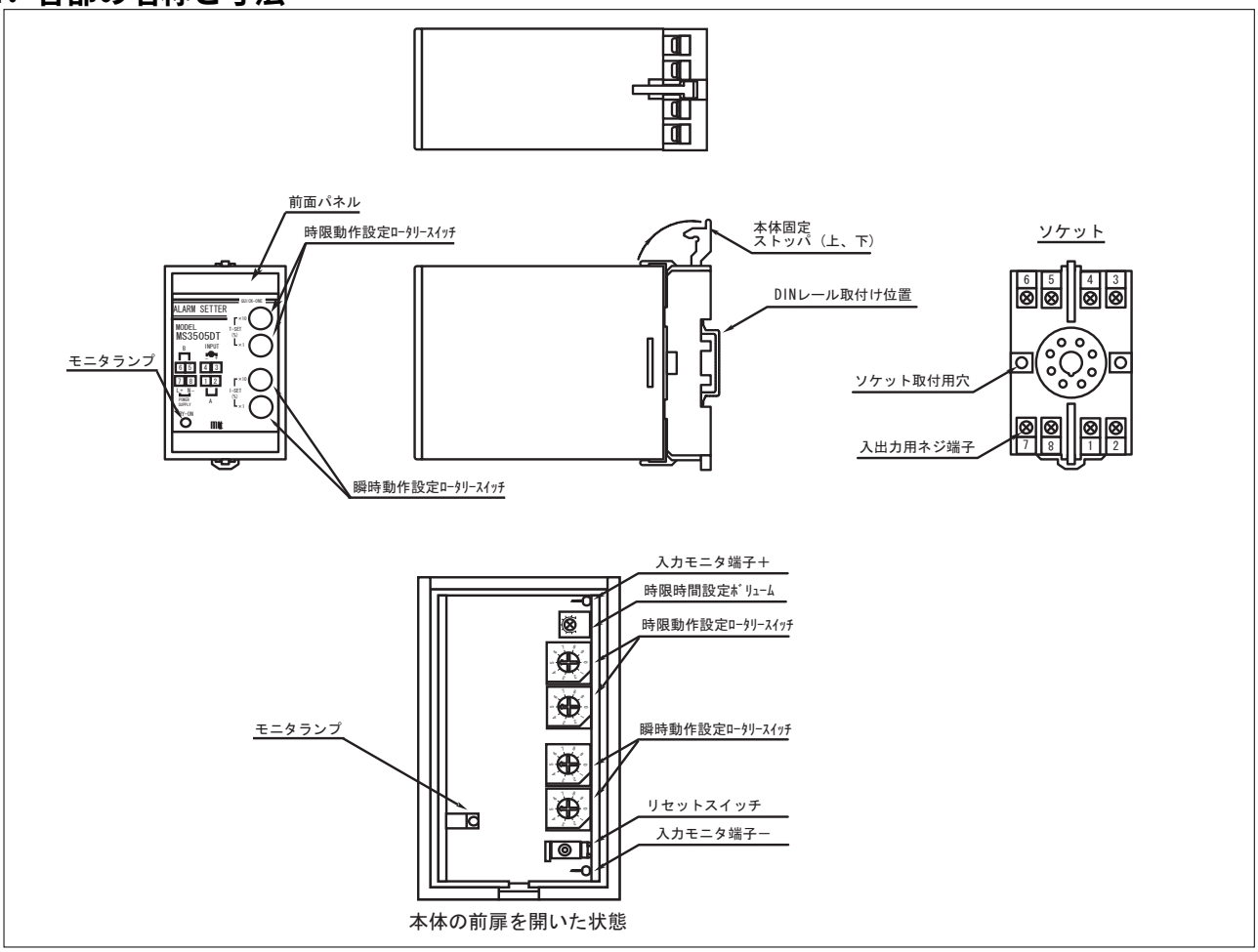
⚠留意 安全に関する使用上の注意

- 電源、入力信号、出力信号の配線は、ノイズ源やリレー駆動、高周波ライン近くには行わないでください。
- 直射日光の当る場所や、高温、粉塵、湿気もしくは振動の多いところで使用および保管しないでください。
- 本器による計測に先立って、念の為、約 30 分間のウォーミングアップを行ってください。

3．概要

ＭＳ３５０５ＤＴ/ＭＳ３５０５ＤＴ－０１は１つの入力に対して、時限動作点と瞬時動作点の２つの設定値を設けることが可能な、Ｃ接点１回路出力のアラームユニットです。
本体とソケット部により構成されたプラグインタイプの変換器です。DIN レール、ウォールマウントの 2 種類の取付に対応します。

4．各部の名称と寸法

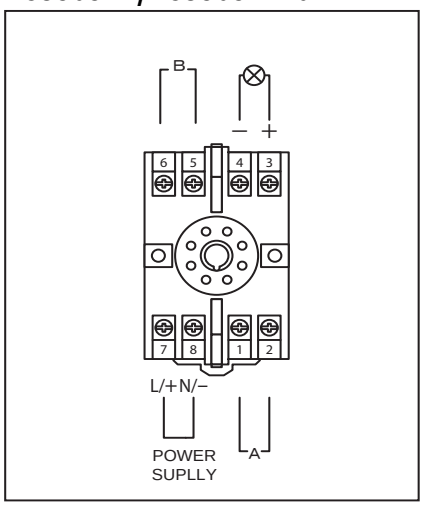


本体の前扉を開いた状態

5．接続の方法

信号変換器に対する入力・出力・駆動電源の接続は、ソケットのネジ端子で行います。右図をご参照下さい。

MS3505DT/MS3505DT-01



6．出力動作の設定

時限動作の設定

変換器前面パネル部のロータリースイッチ（Ｔ－ＳＥＴ）で設定することができます。
設定範囲：入力信号の絶対値に対して
０～９９％（１％ステップ）
（ロータリースイッチ上段：１０％ステップ、
下段：１％ステップ）

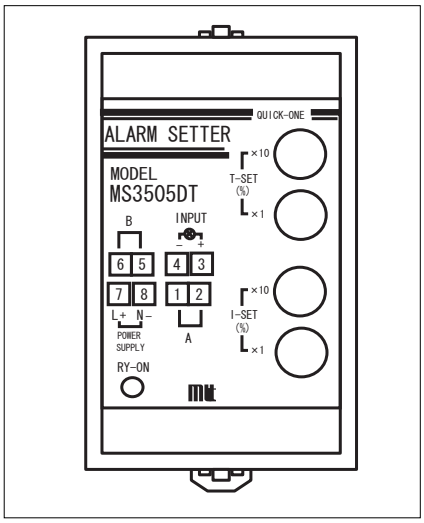
瞬時動作の設定

変換器前面パネル部のロータリースイッチ（Ｉ－ＳＥＴ）で設定することがでます。
設定範囲：入力信号の絶対値に対して
０～９９％（１％ステップ）
（ロータリースイッチ上段：１０％ステップ、
下段：１％ステップ）

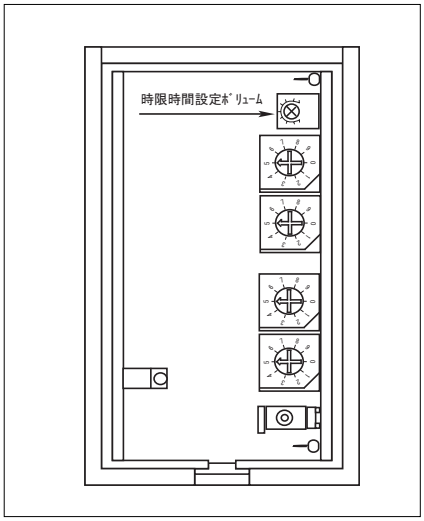
時限時間の設定

変換器前面扉内のボリュームにて、設定することができます。

MS3505DT/M3505DT-01
(前面パネル)



MS3505DT/MS3505DT-01
(変換器前面扉内)



7．動作説明

MS3505DT/MS3505DT-01 は、１つの入力に対して時限動作点と瞬時動作点の２つの設定値を設けることが可能なＣ接点１回路出力のアラームユニットです。
下記に時限動作、瞬時動作、リレー動作の説明をいたします。

ＭＳ３５０５ＤＴ／ＭＳ３５０５ＤＴ－０１

時限動作：入力電圧が、T-SET で設定した設定値を越え、且つ設定した時限時間を継続した場合、リレーが励磁状態になり、モニタランプのＬＥＤが点灯します。

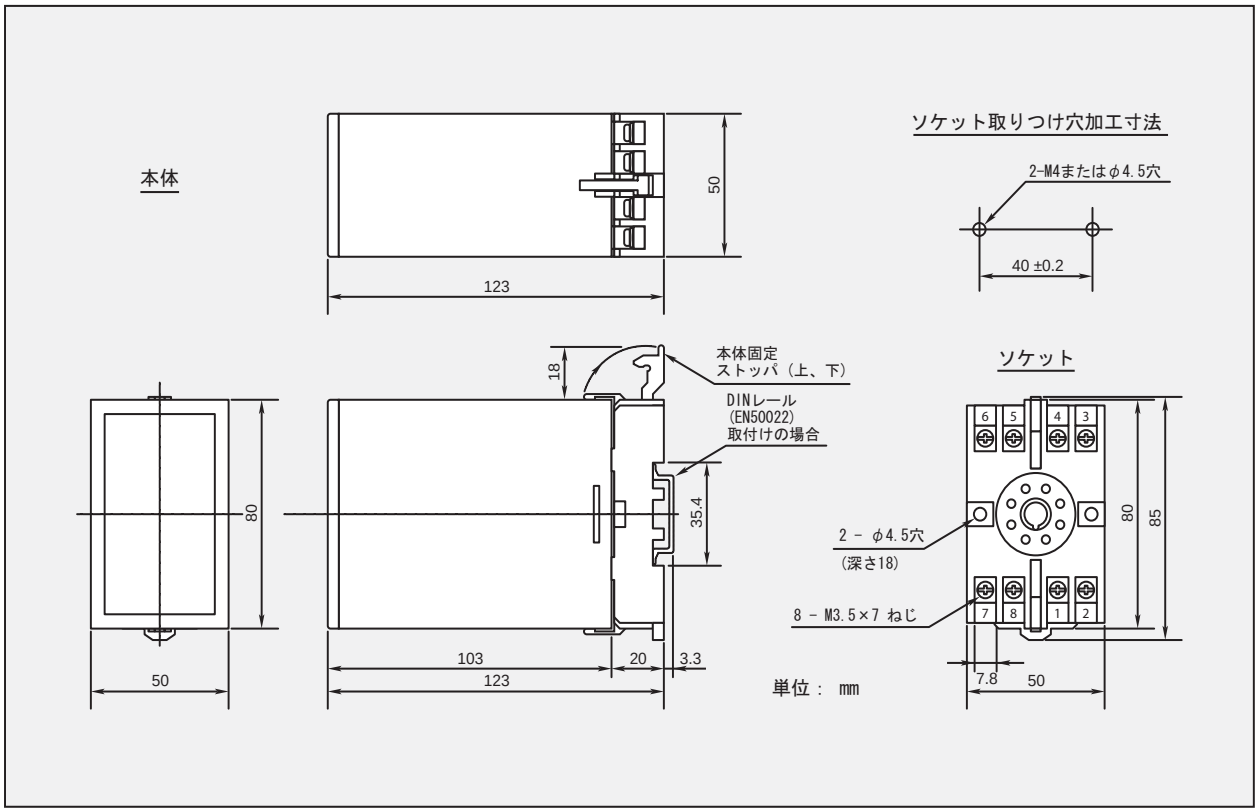
瞬時動作：入力電圧が、I-SET で設定した設定値を超えた時点で、リレーは励磁状態となりモニタランプのＬＥＤが点灯します。

リセットをする場合

入力電圧が I-SET,T-SET 両方の設定値未満であることを確認の上、変換器前面扉内のリセットスイッチを押します。その際、モニタランプのＬＥＤは消灯します。

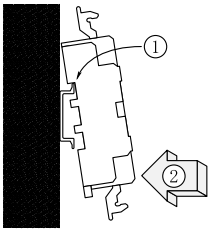
（注：ＭＳ３５０５ＤＴは入力電圧が設定値未満になっても、リセットするまではリレーは「励磁」の状態を保ち、モニタランプのＬＥＤは点灯したままとなります。
ＭＳ３５０５ＤＴ－０１は入力電圧が設定値未満になると、リレーは「非励磁」になりますがモニタランプのＬＥＤは点灯したままとなります。）

8．外形寸法図



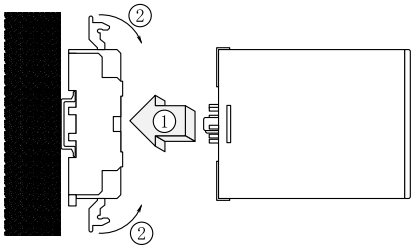
9．信号変換モジュールのベースへの取り付け・取り外し

① ソケットの取り付け



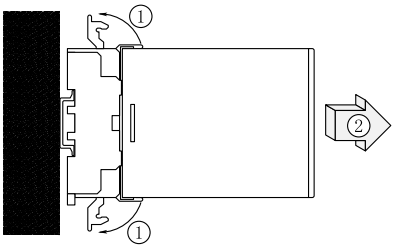
ソケット基盤についているレールホルダ（黄色の部分）を下にして、その反対方向にあるツメをレールに引っ掛けてからソケットを図のように嵌め込み、レールホルダをかけて固定します。

② 本体のソケットへの装着



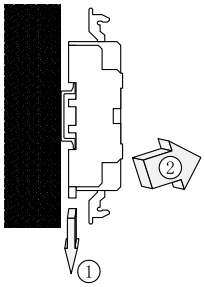
本体の上下方向を確認して、ピンをまっすぐ挿し込んだ後、ソケットの上下についているストッパ･フックを本体ケース上の孔にかけてロックします。

③ 本体のソケットからの取り外し



ソケットの上下で本体を固定しているストッパ･フックを、図のように起こして、本体をまっすぐ手前に引きます。

④ ソケットの取り外し



ソケット下部のレールホルダの溝にマイナス･ドライバ等を挿し込み、それを下方に押しながらソケットの下部を手前に引きます。

10．保証期間と保証範囲

記

〔保証期間〕

納入品の保証期間は、ご注文主のご指定場所に納入後 3 ヶ年といたします。

〔保証範囲〕

上記保証期間中に弊社の責により故障を生じた場合は、その機器の故障部分の交換、
または修理を弊社の責任において行います。
ただし、つぎに該当する場合は、この保証の対象範囲から除外させていただきます。

(1) 需要者側の不適当な取扱い、ならびに使用による場合。
(2) 故障の原因が納入品以外の事由による場合。
(3) 弊社以外の改造、または修理による場合。
(4) その他、天災、災害などで、弊社の責にあらざる場合。

なお、ここでいう保証は、納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

※万一不良品が発生した場合は無償で修理致します。なお不良箇所につきましては、解析の上ご報告致します。